

(1)事業の概要等

事業番号	B1901-2
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまき市民文化財団助成事業					担当部			健康生きがい 支え合い推進部		
	事業期間	平成29年度	～	令和6年度以降		担当課			文化・スポーツ課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	19	展開 方向	1	担当係			事業推進係		
	予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	5	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	教育振興基本計画 一般財団法人こまき市民文化財団運営費補助金交付要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	こまき市民文化財団が行う文化事業等を推進することにより、多くの市民が文化にふれあう機会等をもつことができ、本市の文化の振興及び生涯学習の推進を図ることができる。										
	対象 (何・誰を対象に)	こまき市民文化財団										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度の実施内容 ・こまき市民文化財団主催事業及び運営費を補助し、市民の文化芸術、学びへの関心を高め、小牧市の文化及び生涯学習活動の活性化を図った。 ■普及事業 鑑賞や体験を通して、市民に良質な文化を提供し、文化芸術に興味を持つきっかけを作る。 ■伝統文化事業 伝統文化や生活文化にふれる機会を提供し、小牧の文化へ愛着と誇りを醸成する。 ■舞台公演事業 優れた音楽、舞踏、演劇等の文化芸術を鑑賞できる機会を充実する。 ■美術事業 創作活動の発表の場として市民美術展を開催する。また、地域と関わりあいながらアートをととしたまちづくり・人づくりを育むための事業を行う。 ■こまなび事業 ゆうゆう学級講座や文化財団の特色を生かした講座等を実施する。また、生涯学習の総合的な窓口の役割を担う。 ■広報事業 積極的に情報発信し、文化情報の認知度を高める。 ●直接経費(令和3年度) 負担金、補助及び交付金 135,739千円 ●直接経費(令和4年度) 負担金、補助及び交付金 157,311千円 										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	134,380	136,315	136,604	135,739	
			国・県支出金	千円	—	—	—	—	
			その他	千円	—	—	—	—	
			計(A)	千円	134,380	136,315	136,604	135,739	
		対前年比	%	—	1	0	0		
		予算額	千円	150,789	160,382	169,251	158,082	157,311	
人件費		正規職員	人	0.3	0.3	0.3	0.3		
		正規職員(平均賃金)	千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
		その他職員	人						
		その他職員(時給×時間)	千円						
		計(B)	千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
事業費合計(C=A+B)			千円	136,626	138,561	138,850	137,985		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		19	展開方向		1
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1	(一財)こまき市民文化財団などが主催するイベントの来場者数	人	↗	38,903	39,974	11,903	17,404
2							
3							

指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4	
指標	成果指標	文化財団の舞台公演の来場者数	人	目標	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
				実績	7,903	5,950	1,697	2,356	
	活動指標	文化財団の舞台公演の公演数	回	目標	10	10	10	10	10
				実績	13	12	7	7	
単位事業あたり	受益者数(a)		人	38,903	39,974	11,903	17,404		
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	3,511	3,466	11,665	7,928		

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>令和3年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響により、成果指標である文化財団の舞台公演の来場者数は、低調な推移となった。これは、新型コロナウイルス対策による入場制限や公演自体の中止が要因である。</p> <p>コロナ禍における事業の運営については、新型コロナウイルス対策を徹底して、安心して参加してもらえるよう工夫していく必要がある。</p>					
	今後の実施内容	<p>時代や技術等の変化に伴い、新しい文化等を市民に提供していかなければならない一方で、次代につなげていかなければならない伝統文化もあり、文化財団の提供するコンテンツが時代や環境のニーズに適応しているかどうかを常に検証していく。</p> <p>また、文化や生涯学習に興味を持っていただける市民を増やしていくために、新たな層へのアプローチもあわせて検討する。</p> <p>補助金による効果は、短期的に現れるものではないが、文化財団の活動を補助することにより、本市の文化・芸術の振興及び生涯学習の推進を図っていくため、引き続き、文化財団の活動を支援していく。</p>					
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	